

申し込み方法

教 室 英進館天神本館2号館 （福岡市中央区渡辺通 4-8-20（西鉄福岡（天神）駅 徒歩3分））
もしくはオンライン受講

受講料 1講座につき11,000円 （1講座120分授業 × 4回，教材費・税込み）
※中高一貫部の季節講習は各種割引の対象外です。

お問い合わせ 092-718-0053 （英進館中高一貫部）

締 切 申込締切は3/14（火）です。締切後の追加・変更・キャンセルは承れません。
なお、定員により早めに締め切る可能性があります。

教 材 オンライン受講の場合は事前に郵送します。教室受講の場合は初日に配付します。

お申し込み 下の URL または右の QR コードからお申し込みください。
<https://bit.ly/2023h2sp>
折り返し、申し込みの確認メールをお送りします。



英語・数学

英語総合演習

英語の入試問題は長文化が進む一方で、それと同時に、難関大学では高度な精読力も求められています。この講座では過去の難関大学の出題から、和訳・作文の難問・良問を厳選して扱います。まずは難関大入試対策の第一歩として、「このレベルまで力を伸ばすことが必要だ」ということを掴みましょう。

数学総合演習

最新の 2023 年大学入試問題から、文系・理系共通範囲の良問を選んで、実戦的な問題演習に取り組みます。旧帝国大学などの難関大学の出題に早めに触れておくことで、ここから大学入試本番までにどれだけ力を伸ばすことが必要かを体感し、今後の学習の質を高めていくことが狙いです。

数Ⅲ基礎

中高一貫部では高1の4月から、理系志望者を対象に数Ⅲの学習を進めてきました。難関大学の二次試験では、「数学の配点の半分がそれ以上が数Ⅲからの出題」というケースも多く、数Ⅲの達成度が可否に直結すると言っても過言ではありません。数Ⅲは考え方や計算手法が難解で、習得に苦労する人も多いのですが、しかし、数学Ⅰ・A・Ⅱ・B に比べると、ひらめきやセンスを要する難問は少なく、早めから対策を進めて基本手法を身につけておけば十分得点源とすることができます。この講座では、「平面上の曲線と複素数平面」の考え方を基本から振り返り、各単元の計算手法や基本問題について確固たる土台を固めていきます。
※この講座では、最終日に復習テストを実施します。
※理系志望で数Ⅲ未習の人、中高一貫部でふだん数Ⅲを受講しているが既習事項でまだ理解不十分な内容が残っているという人はぜひ受講してください。ふだん数Ⅲを受講していて理解が順調な人は受講不要です。

英検®対策

中高一貫部の季節講習では、英検®2級対策・準2級対策の講座を設置しています。

英検®では「読む・聞く・書く・話す」の4技能がバランスよく問われていますが、この講座では主に、語彙や文法語法、読解、作文といった要素について対策を進めます。

●英検®2級対策

準2級を取得していて、今後2級を受験予定の生徒を対象とした講座です。

過去に出題されたのと同レベルの語彙・文法語法問題・読解問題・作文問題を扱います。講習では、2級レベルの語句を200以上扱うとともに、差がつきやすい文法・語法を整理します。また、読解演習を通じて英文を読む精度とスピードを伸ばします。作文については過去問と類似のレベルの問題を扱い、答案は添削して返却します。当然ながら、大学入試に向けての英語力養成にも大きく役立つ講座です。

●英検®準2級対策

3級を取得していて、今後準2級を受験予定の生徒を対象とした講座です。

過去に出題されたのと同レベルの語彙・文法語法問題・読解問題・作文問題を扱います。講習では、準2級レベルの語句を200以上扱うとともに、差がつきやすい文法・語法を整理します。また、読解演習を通じて英文を読む精度とスピードを伸ばします。作文については過去問と類似のレベルの問題を扱い、答案は添削して返却します。当然ながら、大学入試に向けての英語力養成にも大きく役立つ講座です。

※この講座は学年をまたいで実施します。したがって、申し込み人数によっては他学年の生徒も一緒に受講します。

※教材は過去の同名講座の内容を増補改訂したものですので、かなりの程度は過去の講座と同内容です。

※英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。

※このコンテンツは、公益財団法人 日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。

情 報

新高2生から、国公立大学の入試において、大学入学共通テストの「情報Ⅰ」が必須となることが決まりました。英進館グループでは、「情報Ⅰ」のすべての教科書、大学入試センター発表のサンプル問題、その他さまざまな資料を分析・研究して、いち早く対策講座を設定しました。高校課程の「情報Ⅰ」で学ぶ内容は、大学入試で必要となっただけでなく、現代社会を生きるうえで欠かせないものばかりであり、ここで身につけたコンピュータリテラシー、ITについての理解、数理的思考力といったものは、社会人となっても大きく役立つはずです。ぜひ主体的に身につけていきましょう。

中高一貫部の季節講習では、夏・冬・春の3回に分けて、「情報Ⅰ」の内容全体を概観します。それぞれの講習で扱う内容は、おおよそ次のように予定しています。

●夏：問題の発見と解決方法、情報のモラル、コミュニケーション手段、デジタル表現

●冬：情報デザイン、コンピュータの活用、プログラムの基本構造、モデル化とシミュレーション

●春：ネットワークとインターネット、情報セキュリティとデータベース、情報システムとデータの管理・収集・整理・分析
なお、「情報Ⅰ」もぜひ早めから学んでいってほしいところですが、入試の配点や教科の奥深さ・学習の負担を考えると、みなさんがまず優先して学ぶべきなのはなんと言っても英語・数学です。英語・数学の学習が順調だという場合のみ、この講座の受講を検討してください。

※この講座は学年をまたいで実施します。したがって、申し込み人数によっては他学年の生徒も一緒に受講します。